

Osaka Metro まちさんぽ

ニュートラム 南港口駅

大阪南港の入り口

南港口駅

60分
コース

咲洲の根元に広がる貯木池

大阪港に面した住之江区の人工島が大阪南港で、別称は咲洲。江戸時代に開発された西北島新田の西側埋立地にあった野菜畑に、大戦直後に貯木場が建設され、さらに海側へ埋め立てが進められて咲洲が造成されました。咲洲の根元に南港口駅があります。



平林の貯木場は、かつて大正区の大正運河沿いにあった貯木池が運河の埋め立てでこちらに移転して形成されました。かつてわずかな野菜畑があった荒れ地に貯木池が造成されたのです。南港口駅から貯木場を1周して大和川河口を散策して、南港・咲洲の根元を探索してみましょう。

スタート駅

南港口駅
①号出口
ニュートラム

1 木村団地
第1・第2・第3貯木池

2 住吉川(細江川・細井川)

3 平林高崎宮

4 大和川歩行者専用道
大和川

5 大和川橋梁

ゴール駅

平林駅
ニュートラム

約 60 分

南港口駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

ニュートラム 南港口駅

大阪南港の入り口

咲洲の根元に広がる貯木池

大阪港に面した住之江区の人工島が大阪南港で、別称は咲洲。江戸時代に開発された西北島新田の西側埋立地にあった野菜畑に、大戦直後に貯木場が建設され、さらに海側へ埋め立てが進められて咲洲が造成されました。咲洲の根元に南港口駅があります。

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

ニュートラム南港口駅①号出口

ニュートラム平林駅

1 第1・第2・第3貯木池・木材団地

大阪の木材市場は江戸時代初めに長堀川沿いに形成されたのが始まりで、大正7年(1918)に大正区の大正運河沿いに移転し、昭和になると西日本はもとより旧満州や朝鮮にまで広い商圏を持っていました。ところが大正区は、戦災と工業用水汲み上げによる地盤沈下、そして昭和25年(1950)のジュン台風の高潮で壊滅的な被害を受け、大阪港復興計画のひとつとして大正内港の建設と大正運河の埋め立てが進められ、木材市場の移転が強いられました。

一方、木津川対岸の平林地区は、明治から昭和にかけて埋め立てられた土地でしたが、一部が野菜畑として利用されていた荒地で、戦時中は高射砲を据える軍用地になっていました。そこで、大正区の貯木池や製材工場を移転する用地として区画整理事業が実施され、次々に貯木池を造成して、昭和27年(1952)に最初の供用を開始、昭和47年(1972)に移転が完了しました。高度成長に伴う住宅需要の増加を受け、一帯は関西一円に木材を供給する木材団地として発展し、最盛期の昭和40年代(1965前後)は、貯木池の水面が見えないくらい輸入原木の丸太がひしめき合っていました。しかし、その後加工した半製品の木材輸入が中心になり、また木造住宅の減少もあって、約70社あった企業は数社にまで激減し、木材団地は影を潜めました。

現在は貯木池に丸太は浮かんでいませんが、周辺にはいまでも木材倉庫や製材工場が立ち並んで木の香りが漂い、木遣橋に行んで池面を眺めながらかつての隆盛を想像することができます。総面積約70haに及ぶ平林貯木池の将来活用がいま模索されています。



2 住吉川 (細江川・細井川)

住吉川の上部は住吉大社の南側を流れている細江川(細井川)で、かつてそのあたりは浅沢小野といわれるカキツバタの名勝で、『万葉集』にもその情景が詠まれています。古代の海辺は住吉大社まで迫っていて、細江川は遣唐使船が出入りした入り江になっていました。

下流部を住吉川と呼び、江戸時代中期、大和川が付け替えられたのちに運ばれた土砂を利用して住吉川と新大和川の間に加賀屋新田が開発されました。現在は、貯木池の手前から北上して敷津運河になって木津川に流れています。木遣橋から水門を通して住吉川が覗けます。



3 平林高崎宮

南加賀屋の高崎神社の外宮です。昭和32年(1957)に南加賀屋の高崎神社の御旅所として設置されましたが、すぐに平林高崎神社(高崎宮)として存立されました。祭神は南加賀屋の高崎神社と同じ天水分大神あまのみなるとで、大物主大神、久久能智大神を合祀しています。



4 大和川 大和川歩行者専用道

奈良県を発した大和川は、全長68km、大阪南港で大阪湾へ出ます。江戸時代中期に西へ向かって流路が付け替えられ、大坂と堺を分かちました。新大和川が運ぶ土砂を利用して加賀屋甚兵衛がこのあたりから住吉川にかけて新田の埋立地開発を始めました。現在はさらに海の方へ延びて、咲洲が造成されています。大和川の対岸には堺市のスポーツ施設「J-GREEN堺」が広がっています。舗装された歩行者専用道から大和川河原道へ降りることができます。



5 大和川橋梁

大和川を斜めに横切る阪神高速4号湾岸線の斜張橋は、昭和56年(1981)に架橋され、その当時、日本での最初の世界的規模の長大斜張橋とされました。川の流れて沿わせた小判型の橋脚と2本の柱、4本のケーブルが美しい構造美を描いています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年2月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行